

# 世界主要OEMの ADAS/自動運転開発競争 2026

**NVIDIAの参戦とTesla vs Waymo競争構図の変化**

- Tesla率いるビジョン方式のEnd-to-End (E2E) 自動運転と Waymo率いるモジュール方式の自動運転技術を比較・分析！
- レガシーOEM VS Tesla等振興OEM勢力のADAS/自動運転競争について詳報！
- 世界主要OEMが進めているADAS/自動運転開発動向と特徴などを詳報！
- ADAS/自動運転の開発・実用化におけるM&Aや提携関連動向について詳報！
- ADAS/自動運転の実用化に求められる主要センサーや半導体における動向について報告！

● 発行：2026年3月31日 ● 価格：330,000円（税込、国内送料込） ● 体裁：A4判 185ページ  
 ● 簡易カラー印刷バインダー形式、Web印刷版等から選択可能 ● PDF+報告会：660,000円（税込）  
 ※ 報告書の内容をご覧になりたい方は、営業部までお問い合わせください。 TEL：052-789-1101 E-mail：info@fourin.jp

ADAS/自動運転（AD）において、Tesla、Waymo、NVIDIAによる競争が鮮明になっています。これまでTeslaのビジョンE2E方式と、Waymoのセンサーフュージョンモジュール方式の大きく分けて2つのパターンによる技術展開でしたが2026年1月、Las Vegasで開催されたCES 2026で、世界AI・半導体大手のNVIDIAが、E2E Reasoning※方式の自動運転ソリューションを発表。フルAIスタックの自動運転ソリューションを通じて、自動車業界で難題とされているレベル3以上の高度ADAS/ADの実用化を手助けするテクノロジーソリューションプロバイダーとして野心的な計画を示しました。早速、NVIDIAはMercedes-Benz、GM、Hyundai Motor Groupといったレガシー自動車メーカー（OEM）との戦略的なパートナーシップを発表したほか、これら以外の様々なOEMとADAS/ADの開発と実用化に向けて、提携を締結しております。2026年3月に開催された、NVIDIA主催の世界的なAIカンファレンスのNVIDIA GTC 2026には、上記OEMに加え、世界主要OEM/Tier1が参加し、NVIDIAのソリューションを活用したレベル3以上（正確にはレベル4）のADAS/ADの実現を加速させようとする様子が窺えました。NVIDIAは、自社AIプラットフォーム、シミュレーションなどのソリューションを活用し、より高度なAIトレーニングとADAS/AD技術の高度化を図るとしています。これを通じてNVIDIAは、ADAS/自動運転分野でリソースが不足している主要OEMの救世主としての取り組みを一段と鮮明にしました。

NVIDIAの動きとは別に、Teslaはこれまで通り膨大な実走行データ（2026年内に100億マイルに到達する見込み）を活用した独自のE2E方式を強化、2026年よりロボタクシーが本格化します。一方、Waymoについては、これまでのモジュール方式ADAS/ADから、E2Eに方向性を切り替える模様です。センシングだけに依存するのではなく、AIによる積極的な推論・判断・制御を強化し、自社技術の競争力向上を図るとしています。

NVIDIAの動きに対し、自動車のADAS/AD分野はどのように変わのでしょうか。NVIDIAのソリューションプロバイダーとしてのビジネスが成功すれば、もはやTeslaは技術優位性と競争力を失い、WaymoもいずれNVIDIAのソリューションに取り込まれるでしょう。ただ、本当にNVIDIAがどこまで上手く進むのかは分からず、これからの動きと、主要OEMが実施中のテスト等を注視する必要があります。再びレベル3以上のADAS/AD、ロボタクシー分野が盛り上がる中で、業界と技術における今後の競争もより活発になるでしょう。

このような背景から、世界主要OEMのADAS/自動運転の開発と実用化をめぐる現状と将来についてマルチクライアント調査報告書「**世界主要OEMのADAS/自動運転開発競争 2026**」を発刊しました。主要自動車メーカーおよび関連サプライヤーやパートナーのADAS/ADにおける動向確認、今後のADAS/自動運転、ましてやSDV分野における予測・判断材料として、当報告書をご活用頂ければ幸いです。

(※) Reasoning（リーズニング）方式とは、システム（AI）が論理的な思考と推論を行うことを意味します。つまり、システムが行う行動にはすべて理由があり、説明が伴われます。



## 第1章



## 総論

# 世界主要OEMのADAS/自動運転開発競争 2026

申込書

- バインダー綴じタイプ : 330,000円（税込）
- Web印刷タイプ : 330,000円（税込）
- バインダー綴じタイプ+Web印刷タイプ : 396,000円（税込）
- PDF+報告会 : 660,000円（税込）

貴社名 \_\_\_\_\_

貴部署名 \_\_\_\_\_

御住所 (送付先) \_\_\_\_\_

TEL番号 \_\_\_\_\_

E-mail address \_\_\_\_\_

(フリガナ) 御役職 \_\_\_\_\_

ご氏名 \_\_\_\_\_

通信欄 \_\_\_\_\_

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込みは、申込書に必要事項をご記載の上、FAXまたはメール添付してください。またE-mailでのご注文も承ります。

総論 ADAS/自動運転競争の今後の行方..... 1

- 0-1. Tesla/NVIDIA/Waymo/中国勢の自動運転覇権競争：
  - End-to-End方式への集中が鮮明、Teslaの技術牙城に挑むNVIDIAと中国勢..... 2

第1章 主要国・地域におけるADAS/自動運転関連法規制動向..... 12

- 1-1. ADAS/自動運転の国際法規/標準規格：レベル4・ドライバーレス車両を想定したルール作りが進展、レベル3以下の安全性の確保も強化..... 13

第2章 ADAS/自動運転技術..... 29

- 2-1. ADAS技術..... 30
- 2-2. 自動運転技術..... 35
- 2-3. センシング技術..... 43
- 2-4. ADAS/自動運転向けAI技術..... 50
- 2-5. コネクテッド技術..... 54

第3章 主要OEMのADAS/自動運転開発戦略・動向..... 63

- 3-1. VW Gr：個人向けレベル2++、MOIA向けレベル4のツートラックで対応、Rivian、Xpengとの提携を通じて技術開発の速度と質の向上を図る..... 64
- 3-2. BMW：個人向けレベル2+~3水準のADAS/ADを実用化、現実路線+安全性+信頼性の技術展開に重点..... 70
- 3-3. Mercedes-Benz：個人向けレベル2+~3水準のADAS/ADを実用化、Momenta、NVIDIAとの協力でレベル4水準のAD開発も推進..... 75
- 3-4. Stellantis/Renault：個人向けはレベル2+~3に限定する一方、ロボタクシー向けにレベル4 以上を実用化目標、Pony.ai やWeRide と実証..... 81

- 3-5. GM/Ford/Lucid/Rivian：GM、Ford はレベル2+の技術高度化を推進、Lucid/Rivianは、独自ソリューションでレベル4 水準の実用化を目指す..... 87
- 3-6. Tesla：2026年に無監督版FSD のリリース計画を推進、ロボタクシーCyberCab展開し、完全自動運転の実用化の足掛かりに..... 98
- 3-7. Hyundai Motor Group：ADAS/ADの開発遅延でR&Dトップ交代、2026年以降NVIDIAとの協力で、技術高度化と巻き返しを図る..... 105
- 3-8. トヨタ：Arene OS 連携のToyota Safety Sense (TSS) を新型RAV4 で搭載、事故ゼロを目標に、高度化したTSSとTeammateの2本立て展開を推進..... 111
- 3-9. ホンダ/日産/マツダ/SUBARU/スズキ/SHM：事故ゼロ・安全重視を鮮明に、個人向けでレベル2水準のADAS実用化、ロボタクシー向けレベル4も推進..... 118
- 3-10. 中国系OEM：レベル2+NOAを標準化、NVIDIA、Momenta等と協力し、ロボタクシー向けレベル4の開発をも推進..... 132

第4章 主要ADAS/自動運転システムソリューションプロバイダーの開発・動向 ..... 147

- 4-1. 世界ADAS/自動運転システムソリューションプロバイダー：
  - NVIDIAへの集中続く中、Momenta、Horizonとの提携も活発化 ..... 148

第5章 主要部品・システム分野別動向 ..... 168

- 5-1. センサー：カメラはビジョン系ニーズから500万画素以上の高解像度に進展、レーダーでは、4Dイメージングレーダーの展開でLiDAR置き換えが進む..... 169
- 5-2. ADAS/AD用半導体/SoC：4~7nm工程半導体が主流の中、2nmを視野に、レベル4向けに2,000TOPS以上の高性能SoCの提案が活発化 ..... 175

2-2. 自動運転技術

**第2章**

自動運転技術は、先進のセンサーとAI技術の進化により、レベル1からレベル4へと進化しています。レベル4は、ドライバーレス車両の実用化を可能にする技術です。

【ADAS/自動運転レベルの高度化に伴う技術動向と市場の展望】

レベル1からレベル4までの技術動向と市場の展望を示しています。レベル4は、2026年以降の実用化が期待されています。

【人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割】

人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割を示しています。AIは、人間の判断を補助し、自動運転システムの安全性を向上させる役割を果たします。

3-1. VW Gr ADAS/AD 動向 (トヨタ)

**第3章**

世界自動車産業における、VW GrのADAS/AD開発戦略と動向を示しています。Rivian、Xpengとの提携を通じて技術開発の速度と質の向上を図っています。

【ADAS/自動運転レベルの高度化に伴う技術動向と市場の展望】

レベル1からレベル4までの技術動向と市場の展望を示しています。レベル4は、2026年以降の実用化が期待されています。

【人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割】

人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割を示しています。AIは、人間の判断を補助し、自動運転システムの安全性を向上させる役割を果たします。

4-1. 世界 ADAS/自動運転システムソリューションプロバイダー：
   
NVIDIA への集中続く中、Momenta、Horizon との提携も活発化

**第4章**

世界自動車産業における、ADAS/ADシステムソリューションプロバイダーの開発動向を示しています。NVIDIAへの集中が続く中、Momenta、Horizonとの提携も活発化しています。

【主要 ADAS/自動運転システムソリューションプロバイダーの開発・動向】

企業名	主要製品	開発・動向
NVIDIA	DRIVE AGX, DRIVE Orin	レベル4向けに2,000TOPS以上の高性能SoCの提案が活発化
Momenta	Horizon	レベル4向けに2,000TOPS以上の高性能SoCの提案が活発化
Horizon	DRIVE AGX, DRIVE Orin	レベル4向けに2,000TOPS以上の高性能SoCの提案が活発化

【人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割】

人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割を示しています。AIは、人間の判断を補助し、自動運転システムの安全性を向上させる役割を果たします。

5-1. センサー：カメラはビジョン系ニーズから500万画素以上の高解像度に進展、レーダーでは、4Dイメージングレーダーの展開でLiDAR置き換えが進む

**第5章**

自動運転システムにおけるセンサーの動向を示しています。カメラはビジョン系ニーズから500万画素以上の高解像度に進展し、レーダーでは4Dイメージングレーダーの展開でLiDAR置き換えが進んでいます。

【主要 ADAS/AD 用センシング分野別動向 - 技術動向】

分野	技術動向
カメラ	500万画素以上の高解像度に進展
レーダー	4Dイメージングレーダーの展開でLiDAR置き換えが進む
LiDAR	4Dイメージングレーダーの展開でLiDAR置き換えが進む

【人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割】

人間と自動運転システムの両方から要件制御におけるAIシステムの役割を示しています。AIは、人間の判断を補助し、自動運転システムの安全性を向上させる役割を果たします。